令和４年度　多摩市立多摩第一小学校　　授業改善推進プラン　　教科名

国語

|  |  |
| --- | --- |
| 国語科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて | |
| **ア　思考力、判断力、表現力等（読むこと）** | **イ　思考力、判断力、表現力等（書くこと、話すこと・聞くこと）** |
| ・叙述に基づいて、文章全体の構成を捉えて内容を読み取る力 | ・伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめるために引用と具体的な事例を用いて根拠を明確にする力 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 児童・生徒の学力の状況（課題） | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証（２月） |
| 第１学年 | ・文章の大まかな内容は捉えているが、大事なことを意識して、読んだり聞いたりすることはまだ難しい。ア  ・考えや感想をもち、発表しようとする意欲はあるが、自分の言葉を使って文章で書いたり話したりすることはまだ難しい。イ | ・全文ワークシートで、文章の全体構成を考え、色を使って可視化することにより、大事な事柄がどこに書いてあるかを意識することができるようにする。  ・文章の型を提示し、それを基に書く練習をする。また、友達の意見を聞いたり、自分の考えを話したりする機会を増やす。 | 説明文の単元  ９月～定期的に  「書くこと」「話すこと・聞くこと」に関する単元 |  |
| 第２学年 | ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら読むことはできるようになってきたが、文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもつことはまだ難しい。ア  ・自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることが難しい。イ | ・国語科に限らず、短い文を書く機会を意識的に設け、その都度適切な表記になっているかを確認しながら書く習慣を付ける。  ・テーマを決めて短いスピーチをしたり、文章で書き表したりする機会を増やす。 | ９月～２月  ９月～２月 |  |
| 第３学年 | ・文章の大まかな内容は捉えているが、根拠を的確に捉えて読むことは難しい。ア  ・感想や考えを書くことを楽しめる児童は増えてきたが、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表すには至っていない。イ | ・文章の構成、前後の関係が分かりやすいように、全文ワークシートや、内容を的確に捉えるための読解方略の指導を行う。  ・調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動を取り入れたり、例文などを提示したりする。 | 11月、2月  12月、１月 |  |
| 第４学年 | ・文章の大まかな内容は捉えているが、根拠となる叙述を見付けることに課題がある。ア  ・感想や考えを書くことができるようになってきたが、書くことに対する苦手意識のある児童もいる。イ | ・根拠となる叙述を見付けやすくするために、段落構成、対比などをノートに分かりやすくまとめる工夫をさせる。  ・迷っている児童には、考え方の手順、例文などを提示して、自分で書けるようにして苦手意識の軽減を図る。 | ９月、１０月、１月  ９月～２月 |  |
| 第５学年 | ・説明文で筆者の考えを読み取ることはできるが、要旨を正しく捉えることが難しい。ア  ・自分の考えを相手に分かりやすく順序立てて伝える文を書くことはまだ難しい。イ | ・要旨を捉えられるように、文章内のキーワードを確認したり、文章の構成を確認したりする。  ・文章の型を提示することで、読み手に伝わりやすい文を書けるようにする。  ・考えを共有する場面を設定し、様々な表現方法を提示したり触れたりできるようにする。 | ９月、１０月、１２月、１月  考えの形成の場面、考えの共有の場面 |  |
| 第６学年 | ・原因と結果など、内容の関係やつながりを見付けたり理解したりすることが難しい。ア  ・事実と感想、意見などとの関係について叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて内容を把握することが難しい。イ | ・各段落の内容をまとめ、文章構成を把握できるようにする。  ・主張や事例に対して線を引いたり囲ったりすることで、視覚的に文章内容を把握できるようにする。 | ９～２月  ９～２月 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **■**「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について  ＜全学年＞  ・写真機能の活用（書き方のポイントや例文の共有、要点の確認等）  ・QRコードを活用（話し合いの仕方や情報の共有）  ・付箋機能や短冊機能を活用（文章構成、段落相互の関係の確認、登場人物の整理）  ・スライドの活用（根拠の提示） | ■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学び  に向かう力」の育成に向けた取組について  ＜全学年＞  ・見通しをもたせるために、単元の目標や学習の流れを示す。また、最初に提示した目標について振り返る。 |